

選挙年の予測: ねじれ議会

2024年には、共和党がホワイト・ハウス、上院、下院のすべてを制し、トランプ減税を恒久化することができました。しかし、議会での多数派にはタイムリミットが迫っています。

現時点では、11月の中間選挙で民主党が下院を奪還する可能性は非常に高いと考えられます。2024年の結果と比較すると、民主党はわずか3議席を上積みするだけで下院の過半数を取り戻せます。歴史的に見ても、ホワイト・ハウスを掌握していない政党（今回では民主党）は、第二次世界大戦後の20回の中間選挙のうち18回で少なくとも3議席以上を下院で増やしています。

世論調査でも、民主党は2024年よりも大幅に良い結果を示しています。2024年には共和党が全国の下院得票で2.7ポイント差で勝利しましたが、現在はRealClearPoliticsによる「一般」投票平均で、民主党が6.0ポイントリードしています。共和党に対して8.7ポイントの逆風が吹けば、下院で約25議席を失う可能性があります。ただし、2018年の中間選挙では、一般投票で一時12%以上のリードがあったものの、最終的な勝利は8.4ポイント差にとどまったため、共和党が巻き返す時間はまだ残されています。

確かに、全米各地で進められている選挙区の再編は共和党にやや有利に働く可能性があります。25議席の損失を埋めるには不十分でしょう。多くの共和党員は、昨年審理された最高裁判所の案件が選挙区の再区割りにさらなる選択肢をもたらすことを期待していました。しかし、その判決は2028年には大きな助けとなる可能性があります。2026年には間に合わない見通しです。今年については、世論調査が改善しない限り、区割り変更によって損失を約20議席程度に抑えるのがせいぜいでしょう。

一方で、上院の支配を維持するという点では、共和党の見通しははるかに明るいです。今回改選となる州は、バイデン大統領がトランプ氏に一般投票で約4.4ポイント差で勝利した2020年と同じです。つまり、仮に今回が共和党にとって不利な選挙であっても、前回より大きく悪化する可能性は低いのです。

確かに、共和党は今年争われる議席の大半を守らなければなりません。対象となる22議席のうち20議席は「レッド・ステート（共和党優勢州）」にあり、民主党がこれらの議席をひっくり返すのは極めて難しく、結果として1議席も奪えない可能性もあります。残る脆弱な共和党の議席は、「パープル・ステート（接戦州）」のノース・カロライナ州とメイン州の2つだけです。

ノース・カロライナ州では共和党の現職が引退し、民主党が優位に立っています。一方、メイン州では共和党現職のSusan Collinsが再選を目指しており、2008年や2020年のように全国的に共和党に逆風の年でも勝利してきた実績があります。また、過去3回の選挙ではいずれも世論調査の予想を上回る結果を出しています。

その結果、最も可能性が高いシナリオは、民主党が下院を支配しつつ、上院は共和党が維持する「ねじれ議会」です。

では、これは政策にどのような影響を与えるのでしょうか。2027年1月以降、大統領のもとに届くすべての法案は、成立するために少なくとも一定の超党派的支持を必要とするでしょう。弊社は、歳出に関する合意は議会で成立すると考えていますが、多くの分野と同様に、トランプ大統領は法的限界に挑戦し、1970年代初頭以来使われていない「予算の執行留保（インパウンドメント）」の権限を行使する可能性が高いと思われる。これにより、議会が承認した支出を大統領がどこまで拒否できるのかを巡る法的争いが生じるでしょう。

仮にトランプがこの争いに勝利すれば、将来の大統領は支出削減に関してより大きな権限を持つこととなります。それは一方向にしか進まない「ラチェット（歯止め）」のようなものであり、将来の大統領候補は「これ以上の支出を止める」と議会に対して強く主張することを公約に掲げる可能性があります。もしそうなれば、アメリカ国民は長期的な財政健全化を実現するための選択肢をより多く持つことになるでしょう。

発表日時 (米国中部時間)	米国経済指標	コンセンサス	ファースト トラスト	実績	前回
4-6 / 9:00 am	ISM 非製造業指数 - 3月	54.9	55.5	54.0	56.1
4-7 / 7:30 am	耐久消費財 - 2月	-1.0%	-1.2%		0.0%
7:30 am	耐久消費財 (除く輸送機器) - 2月	+0.4%	+0.2%		+0.4%
2:00 pm	消費者信用 - 2月	\$113 億	\$77 億		\$81 億
4-9 / 7:30 am	新規失業保険申請者数 - 4月4日	210,000	206,000		202,000
7:30 am	第4四半期 GDP - 最終確定値	+0.7%	+0.7%		+0.7%
7:30 am	第4四半期 GDP - 連鎖物価指数	+3.8%	+3.8%		+3.8%
7:30 am	個人所得 - 2月	+0.3%	+0.3%		+0.4%
7:30 am	個人支出 - 2月	+0.6%	+0.6%		+0.4%
4-10 / 7:30 am	消費者物価指数 - 3月	1.0%	+0.9%		+0.3%
7:30 am	コア消費者物価指数 - 3月	+0.3%	+0.2%		+0.2%
9:00 am	製造業受注 - 2月	-0.2%	NA		+0.1%